

184. 横浜で下水道まち歩き

技術戦略部調査役（土木・建築） 岩野多恵

日本下水道協会が主催する下水道展'19は、2019年8月6日（火）から9日（金）までパシフィコ横浜で開催されるそうです。

以前、みなとみらい線の元町・中華街駅の近くにある国土交通省横浜管轄事務所で勤務していたときは休日に横浜市内を散策したのですが、みなとみらい地区や関内地区などがいつも観光客で賑わっている様子に驚いたものでした。そんな横浜の魅力は、1859年に開港した港町であるロマンや、歴史的建造物や、横浜中華街での食事など様々であると思いますが、ここでは、下水道に興味のある方向けのまち歩きモデルコースを紹介したいと思います。参考になれば幸いです。

①日本大通り駅

下水道展が開催されるパシフィコ横浜の最寄り駅のみなとみらい駅から元町・中華街方面へ2駅先にあるのが日本大通り駅です。駅の構内3番出口付近には、「近代下水道発祥の地」と書かれたパネルが掲示されています。

②横浜都市発展記念館（横浜市中区日本大通り12）

横浜都市発展記念館は、日本大通り駅3番出口に直結しており、下水道を含む都市のインフラの歴史や、レンガ造下水道マンホールの模型などが展示されています。また、建物の中庭には、レンガ造卵形下水管などの近代土木遺構が展示されています。

③開港広場（横浜市中区山下町1）

明治10年代に建設されたレンガ造下水道マンホールが発見当時の姿のままで保存されています。

④横浜公園

入口付近に明治時代の英国人土木技師リチャード・ヘンリー・ブランTONの像があります。ブランTONは灯台の建設で知られていますが、横浜居留地の下水道を整備した人でもあります。

⑤中土木事務所（横浜市中区山下町246番地）

横浜市中区内の下水道の維持管理などを行っている中土木事務所の入り口横には、レンガ造卵形下水管が展示されています。

⑥横浜中華街

見ることはできませんが、南門通りでは現在でもレンガ造卵形下水管が使われているそうです。

⑦山下ポンプ場雨水滞水池・山下ポンプ場

横浜人形の家の際に山下ポンプ場雨水滞水池があります。雨水滞水池の地上部には平成26年に整備された保育所があります。また、山下公園の駐車場の地下には、山下ポンプ場があります。

山下公園からは、横浜市のマンホールの蓋に描かれているベイブリッジが見えます。

⑧元町・中華街駅

終点です。



国土地理院の地理院地図にまち歩きモデルコースを追記して掲載